

11月5日（火）～8日（金）の4日間、

1年生は総合学科特有の授業である「産業社会と人間」の特編授業が行われました。

本校では通常のインターンシップに加え、「サテライトインターンシップ」を実施しました。

サテライトインターンシップでは、テレビ信州様を始め、土木管理総合試験所様、長野パルセイロ様、中野市様など多くの企業、団体様に本校へお越しいただき、また実際に企業に赴くなかで、働くということや企業としての果たす使命、実際に行う仕事内容についてお話しいただいたり、体験させていただきました。

生徒の感想より

テレビ信州

「大きな数字をわかりやすく伝えるためには実感がわく比喻、手ざわり感のある表現に変換することが大切だと感じた。」

「情報を正しく判断できる見巧者でありたいと思った。」

土木管理総合試験所

「同じ建設の分野でも調査ごとにやることが違い、必要な力も違うことが分かった。」

「実際に調査するところを見せてもらったり、体験したりすることができて楽しく学びました。」

長野パルセイロ

「夢をあきらめない大切さを学び、将来への希望を持つことができました。自分の未来に向け、分からないことが多くある中で、勇気をもって挑戦する気持ちが生まれました。」

「私はつらいことから逃げてしまうので、今回のお話のなかにあった『ちょっと嫌なこと、つらいことをあえて選ぶ』という言葉が印象に残った。」

全体を通して

「それぞれの仕事に役割や目的があって、いろんな職業の方がいてくれるおかげで、生活できていることを学べた。」

「この1週間で多くの業種について学ぶことができ、進路について考える、良いきっかけになった。」

1年生はこれから進路に向けた、2年次以降の科目選択を決定していきます。

今回学んだことを自分の夢、将来、進路につなげていきます。

